

令和7年度・第1回作井技術委員会・議事録

- 開催日時：2025 年10 月9 日（木）15:30 - 17:30
- 開催場所：JOGMEC TRC+オンライン会議（Webex）
- 出席者：（敬称略）
- 現地参加【21名】：
 - 北村・永岡・池田・安部（JOGMEC）、石川（INPEX）、大野（関東天然瓦斯）、安武・黒澤（JAPEX）、齋藤 真一郎（深田サルベージ）、齋藤 真（IDC）、菅原・八幡（ENEOS Xplora）、館岡（ハリバートン）、田村・村上（SLB）、長久保（ENEOSドリリング）、中台（GSC）、中橋（JFEスチール）、藤井（テルナイト）、今井・鈴木（NECネットエスアイ）
- オンライン参加【11名】：
 - 中嶋（地熱技術開発）、志村・青木（INPEX）、黒田（JAPEX）、重満（JMU）、長縄（秋田大）、筑井（SKE）、吉田・伊澤（ENEOS Xplora）、大里（ティクスTSK）、宗像（出光興産）

議題1：報告事項

- 以下の事項について報告した。
- 作井技術委員会メンバーの交代(前回委員会からの変更点)

運営幹事

新任：菅原 健介（ENEOS Xplora）【3/21付】

離任：後藤 匡雄（ENEOS Xplora）【3/21付】

委員

新任：

中橋 哲（JFEスチール）【3/21付】

八幡 和洋（ENEOS Xplora）【6/25付】

筑井 秀昌（エスケイエンジニアリング）【7/1付】

齋藤 真一郎（深田サルベージ建設）【7/31付】

大里 昌之（ティクスTSK）【9/8付】

館岡 邦宗（ハリバートン・オーバーシーズ・リミテッド）【9/26付】

離任：

田中 全人（JFEスチール）【3/21付】

遠藤 勇太（ENEOS Xplora）【6/25付】

菅野 俊（エスケイエンジニアリング）【7/1付】

藤田 研（深田サルベージ建設）【7/31付】

窪田 亮（ティクスTSK）【9/8付】

遠藤 聡（ハリバートン・オーバーシーズ・リミテッド）【9/26付】

- 第90期第3回理事会に関する報告・情報共有
 - 審議事項は5件・取組中案件4 件
- 分科会活動

- 若手技術者交流会・CCS/CCUS分科会は、座長の交代を検討中。
- 大水深掘削技術分科会は、今年度中に開催すべく資料準備中。

議題2：令和7年度春季講演会作井部門の総括

- 作井部門(シンポジウムおよび個人講演)への参加人数、およびアンケート結果を共有。
 - 次回春季講演会シンポジウムテーマについて、各社のマネジメントシステム・ガイドラインについてはどうかというアイデアが得られた。
 - アンケート結果の中で、個人講演のうち評価の高いものについては、協会誌投稿を打診する方針について紹介された。

議題3：令和7年度作井技術委員会の活動計画

- 以下の事項について紹介した。活動方針(案)について、特段の異論無く承認された。
 - 作井技術委員会活動方針
 - 年間スケジュール
 - 令和7年度活動費予算/令和6年度活動費実績(報告)

議題4：令和7年度第1回作井技術委員会特別講演

- 講演タイトル：「NECグループ海洋事業とHDD工法(弧状推進工法)の紹介」

講演者：NECネッツエスアイ(株) 今井 健太 様・鈴木 臣吾 様

国際データ通信(国際トラフィック)の99%は海底ケーブルで賄われており、NEC社の海底ケーブル事業は世界トップ3に入る。データの大容量化に向け、ケーブル中ファイバー数の多心化やマルチコアファイバーの採用等、技術開発が進められている。

ケーブル敷設のフローとして、大きく海洋工事、弧状推進工法(海と陸を結ぶ)、陸上工事、端局工事と分けられる。弧状推進工法は、石油掘削技術を応用したもので、海底面等から陸域まで弧を描くように掘削/管路を設置し、その中にケーブルを通すというもの。河川横断や山岳貫通等でも使用される。専用の掘削機を使用することで、長距離・大口径の掘削が可能となる。マッドモーターを用いることで、任意の方向へ掘削できる。近年では、洋上風力発電の送電線敷設向けの工事にも適用されている。

以上